

天皇皇后両陛下御臨席の下、第15回「みどりの式典」が開催 ～令和3年緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰～

みどりの式典が開催

第15回「みどりの式典」が、4月23日に憲政記念館において、天皇皇后両陛下御臨席の下、開催されました。

「みどりの式典」は、「みどりの日」について国民の関心と理解を一層促進し、「みどり」についての国民の造詣を深める「みどりの月間（4月15日から5月14日）」の中心的な行事として開催されています。昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったため、両陛下の御臨席は即位後初めてとなりました。

式典では、天皇陛下から、コロナ禍による生活や社会の変化に触れられた上で「私たちの社会や生活と密接に関わり、欠かすことのできない緑を守り、育むために必要な技術や文化について、考えていくことも大切なことではないかと思います」とおことばを賜りました。また、菅内閣総理大臣から令和3年みどりの学術賞の授与（受賞者：武内和彦博士、田畑哲之博士）とともに、令和3年緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰が行われました。

緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰とは

緑化の推進は、国土及び環境の保全、水資源の涵養^{かん}、生活環境の改善等の観点から、極めて重要です。

昭和58年には、国土の緑化に関し、関係行政機関相互の緊密な連携を図り、もって総合的かつ効率的な諸施策を推進することを目的として、関係府省（現 内閣府、総務省、財務省、文部科学省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省）により緑化推進連絡会議が設置されました。

本連絡会議において、緑化運動の推進に資するため、昭和59年から毎年、緑化活動の推進や、緑化思想の普及啓発について顕著な功績のあった個人又は団体に対し、緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰を実施しています。



「みどりの式典」にて表彰される奥野壽一氏

令和3年の受賞者について

38回目となる今年の受賞者は、12の個人、団体に決まりました。森林の整備、花きによる緑化、学校緑化、工場緑化、都市緑化、水源保全や自然環境保全の活動等、様々な緑化活動を長年推進された功労者が選ばれました。

ここでは、森林に関する緑化活動に功績のあった受賞者を中心に紹介いたします。これを機会に「みどり」や「緑化」の大切さに改めて思いを巡らせてみてはいかがでしょうか。

● 奥野 壽一 さん

長年にわたり林業に携わり、地域林業の振興に貢献するとともに、森林ボランティアの実践や担い手の育成に尽力してきたことが評価されました。

● 木村 誠 さん

集約化施業や搬出間伐など地域の模範となる林業経営を実践するとともに、担い手の育成や都市住民との交流を推進し、地域林業の振興と地域活性化への貢献が評価されました。

● 小菅村

昭和62年から「多摩源流」の村づくりを実施し、森林保全活動に取り組むとともに、観光振興事業を組み合わせた都市と源流域の交流活動の展開が評価されました。

● 樹々の会

女性林業グループとして、林産物の活用や森林整備など森林の総合的な利用に取り組み、地域の山づくりや森林保全、緑化推進への貢献が評価されました。

※各受賞者の功績概要、過去の受賞者を以下のウェブサイトに掲載しています。

https://www.rinya.maff.go.jp/j/sanson_ryokka/hyosyo/index.html

※みどりの学術賞、みどりの式典については、以下のウェブサイトをご参照ください。

<https://www.cao.go.jp/midorisho/>



令和3年受賞者

個人

奥野 壽一
木村 誠

大阪府河内長野市
山口県阿武郡阿武町
(敬称略)

団体

化女沼 2000本桜の会
特定非営利活動法人 渋川広域ものづくり協議会
キヤノン電子株式会社 赤城事業所
まちづくり桜植樹プロジェクト (桜さんさん会)
NPO 法人鎌倉みどりのレンジャー
新保ル・ロード花いっぱい運動実行委員会
小菅村
樹々の会
大任町立大任中学校
熊本県立阿蘇中央高等学校 グリーン環境科

宮城県大崎市
群馬県渋川市
群馬県利根郡昭和村
千葉県市原市
神奈川県鎌倉市
富山県富山市
山梨県北都留郡小菅村
京都府京都市
福岡県田川郡大任町
熊本県阿蘇市